

ルクセンブルク経済・金融情勢（2015年1月前半）

1. 経済

- Creditreform社によると、ルクセンブルクにおける2014年の倒産社数は845で、2013年の1,016から約16%減少。特に建設業において減少が顕著。（2日付ヴォルト紙電子版）
- 2014年12月のインフレ率は年率-0.6%（前月は+0.1%）。インフレ率がマイナスとなったのは2009年7月以来。（7日付統計局プレスリリース）
- 2014年12月の消費者信頼感指数は▲4（前月は▲6）。（8日付中央銀行プレスリリース）
- 2014年第3四半期の成長率速報値は、前年同期比+3.8%（前期比は+2.3%）。（8日付統計局プレスリリース）
- 2014年のルクセンブルク・フィンデル空港の旅客利用者数は約250万人で、前年比+12.3%。（9日付ヴォルト紙電子版）
- SES社、ルクセンブルク政府と共同で2017年後半に新たな衛星打ち上げを計画している旨発表。防衛・政府業務向けに軍事周波数を利用予定。（13日付ヴォルト紙電子版）
- 税の透明性及び税の情報交換に関するグローバル・フォーラムの「ピア・レビュー・グループ」が、ルクセンブルクの求めに応じて追加評価を行うこととした旨決定。ルクセンブルクは、2013年11月の同フォーラムによる総合評価にて、情報交換基準を遵守していないと評価されていた。（9日付財務省コミュニケ）
- ベテル民主党（DP）党首（首相）、同党の新年会にて、同党にとって富裕税及び相続税は選択肢とならない旨表明。（13日付ヴォルト紙電子版）
- 政府とルクセンブルク企業連合（UEL）の会合が14日に開催され、企業側が職業安定所を通じた採用を3年間で5千人増やすことなどにつき合意。（15日付ヴォルト紙電子版）

2. 金融

- ルクセンブルク証券取引所、中国工商銀行（ICBC）によるミディアムタームノート（MTN）プログラムを承認。（8日付ルクセンブルク証券取引所プレスリリース）
- ルクセンブルクファンド協会（ALFI）、アジア・ロードショーの一環として台北（13日）、東京（15日）にてセミナーを開催。東京ではグラマーニャ財務大臣がスピーチ。16日には香港でセミナーを予定。（14日付ペー

パージャム誌電子版)

3. 政府

- グラメーニャ財務相、11日から20日までの日程で金融ミッションを率いてソウル、東京、香港を訪問。(9日付財務省コミュニケ)
- ベテル首相、モスコビシ欧州委員(経済・財政担当)と14日にルクセンブルクで会談。(14日付政府公報)

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。